

嶋田義仁教授略歴・業績

〈略 歴〉

昭和24年9月27日 山梨県生まれ

学 歴

- 1968年3月 山梨県立甲府第一高等学校卒業
1974年3月 京都大学文学部卒業（宗教学専攻）
1974年4月 京都大学文学研究科修士課程修了（宗教学専攻）
1976年4月 京都大学文学研究科博士課程進学（宗教学専攻）
1979年10月 Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales（社会科学高等研究院、Paris）
博士課程入学
1980年10月～1981年9月 カメルーン国立研究所研究員
1982年3月 京都大学文学研究科博士課程修了（宗教学専攻）
1985年2月 Docteur de 3^e cycle, Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales

職 歴

- 1984年4月 静岡大学人文学部講師
1985年4月 静岡大学人文学部助教授
1994年4月 静岡大学人文学部教授
2000年4月 名古屋大学大学院文学研究科教授（現在に至る）

学 位

- 1985年2月 Docteur de 3^e cycle en ethnologie, Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales（社会科学高等研究院, Paris）“Cité cosmopolite du Soudan central : Rey-Bouba, capitale d'un lamidat du Nord-Cameroun”
2000年3月 博士（文学・京都大学）「稲作文化の世界観—古事記神代神話を読む」

共同研究員・非常勤講師

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員、中近東文化センター共同研究員、国立民族学博物館共同研究員、広島大学文学部付属地域資料研究センター客員研究員、鳥取大学乾燥地研究センター客員研究員、京都地球環境学総合研究所共同研究員
広島大学文学部、京都大学文学部、大阪市立大学文学部、静岡県立大学、静岡英和短期大学、大阪芸術大学、愛知学院大学文学部、マルア大学（カメルーン）学術顧問

所属学会

日本宗教学会（評議員、理事、常務理事）、日本民族学会（評議員）、日本アフリカ学会（評議員、副編集長）、日本沙漠学会（理事、編集長）、京都宗教哲学会（運営委員、編集委員）

賞 罰

- 1986年 第17回澁澤賞（民族学振興会）（レイ・ブーバ王国をめぐる政治人類学4論文）
 1998年 第14回 NIRA 政策研究・東畑賞（共同受賞）（『新書アフリカ史』講談社）
 1999年 第11回和辻哲郎文化賞（一般部門）（『稲作文化の世界観—古事記神代神話を読む』平凡社）
 2001年 第1回 日本沙漠学会論文賞（「人間生活からみたサハラ南縁地帯の乾燥化—マリ国の事例」『沙漠研究』3号他）

〈業 績〉

単 著

- 1 異次元交換の政治人類学 勁草書房 昭和58年 343頁+xxiv頁
- 2 牧畜イスラーム国家の人類学—サヴァンナの富と権力と救済 世界思想社 昭和60年 299頁+xxv頁
- 3 稲作文化の世界観—古事記神代神話を読む 平凡社 平成元年 354頁（第17回和辻哲郎文化賞受賞、京都大学博士（文学）論文）
- 4 優雅なアフリカ—一夫多妻の超多部族イスラーム王国を生きる 明石書店 平成元年 256頁
- 5 *Djenné morte : Le delta intérieur du Niger et les problèmes de sécheresse* Research Center for Regional Geography, Hiroshima University 平成11年 117頁（Special Publication No. 28）
- 6 翻訳 アフリカの宗教 ルギラ著 青土社 平成15年
- 7 *Royaumes peul, islamiques et super-ethniques dans le Nord-Cameroun : autour de Rey-Bouba* 名古屋大学大学院比較人文学研究室 平成16年（Africa Kingdoms Collection III）
- 8 レイ・ブーバ王国の研究—牧畜民フルベ族によるアフリカ鳥部族イスラーム世界の構築 名古屋大学文学研究科比較人文学研究室 平成19年 150頁（イスラーム圏アフリカ論集Ⅲ）
- 9 黒アフリカ・イスラーム文明論 創成社 平成22年 352頁
- 10 砂漠と文明—アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 岩波書店 平成23年 280頁

編 著

- 1 *L'espace au Japon, tradition et actualité* Société neuchâteloise de géographie 1977
Bulletin de la société neuchâteloise de Géographie 40 の特集編集（Avant-propos, p. 5,

L'espace hétérogène du Japon : pays de montagnes et le "loco-complexe" japonais, pp. 7-26担当)

- 2 アフリカの都市の世界 世界思想社 平成12年 嶋田義仁・松田素二・和崎春日編著 323頁 (「サハラ南縁のイスラーム都市」36-85頁担当)
- 3 シャーマニズムの諸相 勉誠出版 平成23年 216頁 (「序言」4-9頁、「総論 シャーマニズム再考—国際比較の中から」10-27頁担当)

編 著 (科研費などによる研究プロジェクト成果)

〈アフリカ伝統王国研究〉 3巻

- 1 アフリカ伝統王国研究 1 アフリカにおける伝統王国の社会変化の比較研究—特に国民社会形成とのかかわり 静岡大学人文学部文化人類学研究室 平成11年 139頁 (平成10、11年度科学研究費補助金研究成果報告 1 「ソコト・カリフ帝国縦断調査記—カメルーン、ナイジェリア、ニジェール」61-71頁担当)
- 2 アフリカ伝統王国研究 2 アフリカにおける伝統王国の社会変化の比較研究—特に国民社会形成とのかかわり 静岡大学人文学部文化人類学研究室 平成13年 230頁 (平成10、11年度科学研究費補助金研究成果報告 2 「はじめに」1-11頁、「死せる伝統王国と国民国家体制—マリの場合」23-42頁担当)
- 3 アフリカ伝統王国研究 3 アフリカ伝統王国の不平等階層性と多部族的・超部族的な地域形成をめぐる人類学的研究 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成18年 360頁 (平成14、15、16年度科学研究費補助金研究成果報告 「はじめに」1-15頁、「地域システムとしてのアフリカ伝統王国—アフリカの歴史生態構造と伝統国家」17-42頁、「Les royaumes africains comme systemes regionaux : Zones ecologiques et formations etatiques en Afrique」43-56頁担当)

〈African Kingdoms Collection (アフリカ伝統王国論集)〉 5巻

- 4 African Kingdoms Collection I 日野舜也『アダムワ地域社会の研究』名古屋大学文学研究科比較人文学 平成15年 291頁 (平成14、15、16年度科学研究費補助金研究成果) ※カメルーン・アダムワ研究和文論文を編纂。
- 5 African Kingdoms Collection II Eldridge Mohammadou, *Climat et histoire en Afrique centrale aux 18-19 siècles* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成16年 213頁 (平成14、15、16年度科学研究費補助金研究成果) ※30年以上にわたるカメルーン人共同研究者の著作編集。
- 6 African Kingdoms Collection III Shimada Yoshihito, *Royaumes peul, islamiques et super-ethniques dans le Nord-Cameroun : autour de Rey-Bouba* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成16年 (平成14、15、16年度科学研究費補助金研究成果)
- 7 African Kingdoms Collection IV Shunya HINO, *Swahili and Fulbe. Forontier World of Islam in Africa* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成16年 (平成14、15、16年度科学研究費補助金研究成果) ※アフリカ研究のパイオニアで東アフリカ、西アフリカのイスラーム圏を研究した日野の欧文論文を編纂。
- 8 African Kingdoms Collection V Tomikawa Morimichi, *Ethnic Africa as Regional Systems* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成17年 (平成14、15、16年度科学研究費補

助金研究成果) ※わが国アフリカ研究のバイオニア富川盛道の東アフリカ、西アフリカ研究。

〈イスラーム圏アフリカ論集〉4巻

- 9 イスラーム圏アフリカ論集Ⅰ 日野舜也『アダマワ地域社会の研究』名古屋大学文学研究科比較人文学 平成19年 5007頁+175頁(平成17、18、19年度科学研究費補助金研究成果)
- 10 イスラーム圏アフリカ論集Ⅱ Djingui Mahmoudou, *Le pouvoir, le savoir et la richesse* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成20年 317頁(平成17、18、19年度科学研究費補助金研究成果) ※カメルーン・ガウンデレ大学のDr.Mahmoudouの博士論文を編纂。
- 10 イスラーム圏アフリカ論集Ⅲ レイ・ブーバ王国の研究—牧畜民フルベ族によるアフリカ鳥部族イスラーム世界の構築 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成20年 150頁(平成17、18、19年度科学研究費補助金研究成果) ※嶋田のレイ・ブーバ王国に関する和文諸論文を編纂。
- 11 イスラーム圏アフリカ論集Ⅳ アフリカ・イスラーム圏における白色系民族と黒色系民族の紛争と共存の宗教人類学研究 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成19年 184頁(平成17、18、19年度科学研究費補助金研究成果) ※フランス社会科学高等研究所名誉ディレクターE. Terray、タンザニア大学スワヒリ研究所長J. G. Kiangod、フランス・ナンテール大学講師P. Bacuezなどの寄稿。嶋田は「東地中海世界とアフリカ—チュニジア、ギリシャ、イスタンブール調査行」(1-35頁)を寄稿。

〈文部科学省国際協力イニシアティブ〉1巻

- 12 伝統知識の再活性化によるアフリカ草の根開発(Grass Root Development)と環境保護「アフリカに美しい村と町をつくらう」プロジェクト 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成19年 139頁(「伝統的知識と技術の再活性化によるアフリカの草の根開発(Grass Root Development)と環境保護の思想と方法」成果、1-96頁担当)

〈アジア・アフリカ学術基盤形成〉1巻

- 13 *African Religious Dynamics for knowing the 21st century Africa* 名古屋大学文学研究科比較人文学 平成21年 vol. 1 202頁(アジア・アフリカ学術基盤形成「伝統的生活様式の崩壊と再宗教化をめぐる現代アフリカにおける宗教動態」成果)

〈アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明叢書編集〉11巻(編集長)

- 14 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書1 児玉香菜子『「脱社会主義政策」と「砂漠化」状況における内モンゴル牧畜民の現代的変容—オルドス地域農耕民とゴビ地域遊牧民の事例』名古屋大学比較人文学研究室 平成23年 246頁
- 15 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書2 楊紅『現代満州族シャーマニズムの研究—シャーマンの神話・成巫課程・儀礼を中心として』名古屋大学比較人文学研究室 平成24年 298頁
- 16 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書3 中山千冬『アフリカ文学と西アフリカの近代化—セネガルの作家シェク・アミドゥ・カヌの闘い』名古屋大学比較人文学研究室 平成24年 266頁
- 17 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書4 水谷徹哉『キブツ・サマール—イスラエル南部砂漠のキブツ』名古屋大学比較人文学研究室 平成24年 115頁

- 18 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書 5 Yang Haiying, *Ulanhu, A Nationalist Persecuted by the Chinese Communists: Mongolian Genocide during the Chinese Cultural Revolution* (ウランフーと中国文化大革命—モンゴル人ジェノサイドへの序曲) 名古屋大学比較人文学研究室 平成25年 102頁
- 19 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書 6 ボルジギン・ブレンサイン編著『内モンゴル東部地域における定住と農耕化の足跡』多様化するモンゴル世界 名古屋大学比較人文学研究室 平成25年 256頁
- 20 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書 7 星野弘方編著『変動する自然環境に左右されるモンゴル高原の遊牧』多様化するモンゴル世界Ⅱ 名古屋大学比較人文学研究室 平成25年 100頁
- 21 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書 8 楊海英編著『中央ユーラシアにおける牧畜文明の変遷と社会主義』名古屋大学比較人文学研究室 平成26年 207頁
- 22 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書 9 中村亮・稲井啓之編著『アフリカ漁民の世界』名古屋大学比較人文学研究室 平成26年 309頁
- 23 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書10 児玉香菜子・サラングレル・アラタンツェツェグ編著『極乾内モンゴル・ゴビ砂漠、黒河オアシスに生きる男たち23人の人生』名古屋大学比較人文学研究室 平成26年 502頁
- 24 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論叢書11 高村美也子『スワヒリ農村ボンデイ社会におけるココヤシ文化』名古屋大学比較人文学研究室 平成26年 170頁
(アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究編集) 4巻
- 25 *Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations vol. 1* 名古屋大学比較人文学研究室 平成24年 145頁
- 26 *Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations vol. 2* 名古屋大学比較人文学研究室 平成24年 186頁+11頁
- 27 *Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations vol. 3* 名古屋大学比較人文学研究室 平成25年 120頁
- 28 *Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations vol. 4* 名古屋大学比較人文学研究室 平成26年 88頁

その他

- 29 映画館街の人類学 静岡大学人文学部文化人類学研究室 平成3年 301頁 ※3年間にわたる調査研究の編纂。

共 著

- 1 アフリカ民族学的研究 同朋舎 昭和62年 和田正平編著 (「間接統治下における伝統国家の政治動態—北カメルーン、レイ・ブーバ王国の場合」441-529頁担当)
- 2 文化人類学群像 外国編 2 アカデミア出版会 昭和62年 綾部恒雄編著 (「バランディエーフランス政治人類学の巨頭」217-236頁担当)
- 3 宗教学を学ぶ人のために 世界思想社 昭和63年 石田慶和・藪田担編著 (「宗教民俗学」157-183頁担当)

- 4 *Boucle du Niger, approches multidisciplinaires* 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 昭和63年 川田順造編著(“Rivalités et divisions écologiques : un fondement écologique de la stratification sociale peul au Macina” 211-246頁担当)
- 5 社会構造における自己組織性—個と全体の相互関連性に関する基礎研究 静岡大学人文学部 平成元年 池田善昭編著(「国家形成と社会的分業—フルベ・イスラム国家をめぐる予備考察」81-111頁担当)
- 6 イスラームの都市性 第三書館 平成2年 文部省科学研究費重点領域研究「イスラームの都市性」事務局編著(「アフリカのイスラーム都市—西アフリカを中心に」408-416, 450-452頁、「討論」261-264, 432-446頁担当)
- 7 図説 世界の宗教大事典 ぎょうせい 平成3年(翻訳監修と7論文翻訳 54-57, 61-63, 225, 232-235頁担当) ※荒木美智雄を総監修者とする共同翻訳。
- 8 エラノス叢書 光・形態・色彩(翻訳) 平凡社 平成3年 井筒俊彦・上田閑照・河合隼雄日本語版監修、D. ザーアン著(「白・赤・黒—黒人アフリカにおける色のシンボリズム」翻訳と解題 239-284, 304-313頁担当)
- 9 アフリカの文化と社会 勁草書房 平成3年 日野舜也編著(「アフリカの宗教」113-158頁担当)
- 10 サハラのはとり TOTO 出版 平成4年 門村浩・勝俣誠編著(「サヘルの「内陸化」と「後進化」93-109頁、「サヘルの民族と文化」207-236頁、及び口絵写真と表紙写真担当)
- 11 アフリカ研究—ひと・ことば・文化 世界思想社 平成4年 日野舜也・宮本正興・赤阪賢編著(和崎洋一富山大学名誉教授退官記念論文集)(「牧畜民の国家形成」171-185頁担当)
- 12 文化の地平線—人類学からの挑戦 世界思想社 平成6年 井上忠志・祖田修・福井勝義編(米山俊直退官記念論文集)(「熱帯サヴァンナ農業の貧しさ」475-495頁担当)
- 13 イスラーム研究ハンドブック 栄光教育出版 平成5年 三浦徹・東長靖・授黒木英充編著(「西アフリカ」163-170頁、及び歴史地図、歴史年表、グロッサリー担当)
- 14 アフリカ女性の民族誌 明石書店 平成6年 和田正平編著(「サヴァンナのフェミニズム—一夫多妻制イスラム王朝社会の女性」234-278頁担当)
- 15 新書アフリカ史 講談社 平成7年 宮本正興・松田素二編著(「トランス・サハラ交渉史」180-209頁、及び「イスラーム神権国家の戦い」409-422頁担当)
- 16 〈地域間研究〉の試み—世界の中で地域をとらえる(上) 京都大学出版会 平成8年 高谷好一編著(「西アフリカの地域構造と世界」247-270頁担当)
- 17 新しい教養のすすめ—宗教学 昭和堂 平成9年 細谷昌志・藤田正勝編著(「宗教と政治」145-166頁担当)
- 18 MYTHE SYMBOLES LITERATURE II 神話・象徴・文学II 楽浪書院 篠田知和基編集(“Comment expliquer le mal et le malheur : une esquisse de comparaison, islam ; christianisme et bouddhisme” 45-52頁担当) ※Claude Lévi-Strauss からも寄稿した和文欧文混淆の著書。
- 19 宗教—その原初とあらわれ ミネルヴァ書房 平成11年 叢書 転換期のフィロソフィー 4 村上陽一郎・細谷昌志編著(「贈与あるいは愛の倫理と宗教」278-310頁担当)

- 20 「根拠」への探求—近代日本の宗教思想の山並み 晃洋書房 平成11年 細谷昌志編著
（「風土の思想の可能性—日本的な根源的反省」137-165頁担当）
- 21 世界の社会福祉—アフリカ中南米スペイン 旬報社 平成11年 和崎春日・栃本一三郎・
宇佐美耕一編著（「マリの社会福祉—イスラーム牧畜民家族の生存戦略と社会保障」159-
184頁担当）
- 22 現代アフリカの民族関係 明石書店 平成12年 和田正平編著（「砂漠化と民族紛争の背
後にあるもの—マリ国の場合」27-67頁担当）
- 23 宗教の根源性と現代第2巻 晃洋書房 平成13年 長谷正當・細谷昌志編著（「科学とし
ての宗教、救済としての宗教」97-250頁担当）
- 24 アフリカの都市的世界 世界思想社 平成13年 嶋田義仁・松田素二・和崎春日編著
（「サハラ南縁のイスラーム都市」36-85頁担当）
- 25 非・西欧の視座 大明堂 平成13年 末木文美士・中島隆博編著（「イスラームの「祈り」
について—アフリカで考える」55-80頁担当）
- 26 天皇と王権を考える8 コスモロジーと身体 岩波書店 平成13年 網野善彦・樺山紘
一・宮田登・安丸良夫・山本幸司編著（「古事記神代神話のコスモロジー」17-46頁担当）
- 27 アフリカ ハンドブック 明石書店 平成13年 岡倉登志編著（「アフリカの宗教」123-
141頁担当）
- 28 文化人類学のフロンティア ミネルヴァ書房 平成14年 綾部恒雄編著（「政治人類学の
可能性」217-250頁担当）
- 29 イスラームとは何か 新書館 平成14年 後藤明・山内昌之編著（「サハラ以南」158-163
頁担当）
- 30 地球環境問題の人類学—自然資源へのヒューマンインパクト 世界思想社 平成15年 池
谷和信編著（「砂漠と文明—砂漠化問題に即して」172-201頁担当）
- 31 岩波講座宗教2 宗教への視座 岩波書店 平成15年 池上良正・小田淑子・島蘭進・末
木文美士・関一敏・鶴岡賀雄講座編集（「儀礼とエートス」75-106頁担当）
- 32 朝倉世界地理講座—大地と人間の物語11 アフリカ I 朝倉書店 平成15年 池谷和信・
佐藤廉也・武内進一編著（「多様な王国の歴史と動態」88-105頁担当）
- 33 中国における環境政策「生態移民」の実態調査と評価方法の確立 国立民族学博物館 平
成16年 平成17-19年度科学研究費補助金（基盤研究（A）海外調査）（代表：小長谷有紀）
研究成果報告（「内モンゴルの「近代的」すぎる牧畜改革—サハラ南縁乾燥地域牧畜社会
の観点から」18-27頁担当）
- 34 講座世界の先住民族5 サハラ以南アフリカ 明石書店 平成19年 綾部恒雄監修、福井
勝義・竹沢尚一郎・宮脇幸生編著（「ボロロ（フルベ）」362-380頁担当）
- 35 *Mongolia-Japan in the Past and the Present: Focusing on the 20th Century*（モンゴル語）
The Mongolian Academy of Sciences, Institute on International Studies 2011 Ed. by D.
Shurkhuu et al. (“Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations’ point of view on Mongol
and Japan”（モンゴル語）pp. 110-118担当）
- 36 地球環境史からの問い—ヒトと自然の共生とはなにか 岩波書店 平成20年 池谷和信編
著（「砂漠が育んだ文明—アフロ・ユーラシアの乾燥地」104-121頁担当）

- 37 岩波講座哲学14 哲学史の哲学 岩波書店 平成20年 編集委員：飯田隆・伊藤邦武他
〔世界哲学史の可能性〕103-135頁担当)
- 38 干早区生杏保育埼可持鉄友展(中国語) 内蒙古研究中心 平成20年 小長谷有紀・色音・
単平宝善編著〔社会的朔点香〕51-61頁担当)
- 39 *Comparative Perspectives on Moral Economy: Africa and Southeast Asia* Fukui
Prefetural Unoiversity 平成21年 Ed. by K. Sugimura (“Geo-Historicql Environment
Analysis of Econoy” pp. 82-89担当)
- 40 地理環境与民俗文化遺産(中国語) 北京：知識産権出版社 平成21年 小長谷有紀・色
音編著〔從干早地域考察人類史觀及人類文明危機〕24-35頁担当)
- 41 神話・象徴・図像I 楽浪書院 平成21年 篠田知和基編〔フランス文化における映画〕
105-111頁、〔静岡大学人文学部と文化人類学〕387-399頁担当)
- 42 *Contemporary Perspectives on Moral Economy, Africa and South East Asia* Dar es
Salaam: Dar es Salaam University Press 平成23年 Sam Maghimbi, Isaria N. Kimambo,
Kazuhiko Sugimura eds. (“Geo-Historical Environment Analysis of Economy: How ca we
understand Different processes of modernization in the non-Western world?” pp. 123-
132担当)
- 43 ポスト石油時代の人づくり・モノづくり—日本と産油国の未来像を求めて 地球研叢書
昭和堂 平成25年 石山俊・縄田浩志編著〔エネルギー危機を前に、現代人類の危機を
どう考えるか〕59-104頁担当)

事典類

- 1 世界歴史文化大辞典 教育出版センター 昭和60年 9項目担当
- 2 文化人類学事典 弘文堂 昭和62年 石川栄吉・大林太良・佐々木高明・梅棹忠夫編集
16項目担当
- 3 小学館ロベール仏和大辞典 小学館 昭和63年 専門語校閲
- 4 アフリカを知る辞典 平凡社 昭和63年 年表作成
- 5 事典イスラームの都市性 亜紀書房 平成4年 板垣雄三・後藤明編著 5項目担当
- 6 世界紛争問題事典 平凡社 平成7年 5項目担当
- 7 世界民族事典 弘文堂 平成11年 監修：綾部恒雄、編集委員：綾部恒雄・大塚和夫・木
村秀夫・黒田悦子・小西正捷・小松久男・須藤健一・谷泰・日野舜也・横山廣子 5項目
担当
- 8 世界史事典 角川書店 平成13年 西川正雄他編集 110項目担当
- 9 文化人類学文献事典 弘文堂 平成16年 小松和彦・田中雅一・谷泰・原毅彦・渡辺公三
編著(編集協力者として参加) 6項目担当 ※嶋田の3著書(異次元交換の政治人類学、
牧畜イスラーム国家の人類学、優雅なアフリカ)掲載項目に入る。
- 10 宗教学文献事典 弘文堂 平成19年 編集委員：島蘭進・石井研二・下田正弘・深澤英隆
(編集協力として参加) 37項目担当 ※著書(異次元交換の政治人類学、稲作文化の世
界観)項目として採用。

論文

- 1 サバンナの資本と資本家—レイ・ブーバ王国を支える経済基盤 昭和55年 『季刊民族学』 22、114-130頁 民族学振興会
- 2 サバンナのイスラム王国レイ・ブーバーそのドレイ制とハーレムの論理 昭和57年 『季刊民族学』 20、75-91頁 民族学振興会
- 3 イスラム国家原理と部族社会原理—カメルーン、レイ・ブーバ王国の場合 昭和59年 『アジア・アフリカ言語文化研究』 28、48-99頁 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 4 「野生的」に思惟することをやめよ 昭和59年 『理想』 615、289-301頁 理想社
- 5 マージナルなイスラム教師の国家形成—アダマ師のアダマワ首長国建国をめぐる 昭和60年 『民族学研究』 50-3、270-293頁 日本民族学会
- 6 交換と権力—異次元交換からのアプローチ 昭和60年 『文化人類学』 1、149-178頁 アカデミア出版会
- 7 社会人類学再考—批判学モデルから批判学モデルへ 昭和60年 『理想』 627、140-178頁 理想社
- 8 アフリカの国家形成—レイ・ブーバ王国に見る 昭和60年 『創造の世界』 54、94-123頁 小学館
- 9 黒人イスラムの世界からみたイスラム教倫理の一側面 昭和61年 『宗教哲学研究』 3、87-94頁 北綏出版
- 10 西アフリカ・イスラム化パターンの3類型と「フルベ族の聖戦」—S.Triminghamの西アフリカ・イスラム史論をめぐる 昭和63年 『アフリカ研究』 33、1-18頁 日本アフリカ学会
- 11 西アフリカ内陸イスラム都市の3類型 昭和63年 『イスラムの都市性・研究報告』 研究報告編7、1-13頁 東京大学東洋文化研究所
- 12 マーシナ帝国物語（ニジェール川大湾曲部総合調査） 昭和63年 『季刊民族学』 46、28-38頁 民族学振興会
- 13 黒人アフリカにおけるイスラム都市文化—衣服文化の発展をめぐる 平成元年 『イスラムの都市性・研究報告』 研究報告編12、1-17頁 東京大学東洋文化研究所
- 14 裸族文化から衣服文化へ—西アフリカ内陸社会における「イスラム・衣服文化複合」の形成 平成2年 『国立民族学博物館研究報告』 12：アフリカ民族技術の伝統と変容 和田正平編著 447-530頁
- 15 牧畜民の都市性—その商品生産能力をめぐる 平成2年 『イスラムの都市性・研究報告』 研究報告編16、22-47頁 東京大学東洋文化研究所
- 16 宗教と政治—その根源的同質性をめぐる 平成2年 『宗教哲学研究』 7、17-36頁 北樹出版
- 17 トンブクトウ—サハラ南端の交易・イスラム都市 平成2年 『地理』 35-7、63-70頁、口絵2頁 古今書院
- 18 ジェンネの都市形成 平成2年 『イスラムの都市性・研究報告』 91 東京大学東洋文化研究所

- 19 西アフリカのイスラム化と交易—Trimingham 説再論 平成3年 『アフリカ研究』38、75-85頁 日本アフリカ学会
- 20 人間生活からみたサハラ南縁地帯の乾燥化—マリ国の事例 平成4年 『沙漠研究』3、1-17頁、口絵2頁 日本砂漠学会
- 21 ジェンネ 平成5年 『季刊民族学』66、6-21頁 民族学振興会
- 22 Dynamique politique des Etats traditional sous l'Indirect Rule : du pouvoir à l'autorité—étude de cas du Lamidat de Rey-Bouba 平成6年 *Senri Ethnological Studies* 15, eds. by Shohei Wada and Paul K. Eguchi, pp. 289-359
- 23 アフリカにおけるイスラーム的回心をめぐる三理論 平成9年 『宗教哲学研究』14、41-66頁 北樹出版
- 24 Formation de la civilization “complexe” Islam et vêtements en Afrique sub-saharienne : étude de cas de l'Adamawa 平成10年 *Senri Ethnological Studies* 31, eds. by Shohei Wada and Paul K. Eguchi, pp. 373-422
- 25 稲作文化の世界観—神代神話にみる 平成11年 『環境情報科学』28-1、23-27頁
- 26 Jihad as Dialectical Movement and Formation of Islamic Identity among the Fulbe 1993 *Senri Ethnological Studies* 35: Unity and Diversity of a People The Search for Fulbe Identity, pp. 87-11
- 27 La Formation de l'Emirat de l'Adamawa par un marabout maginal 1993 *African Urban Studies* 3, ed. by Shunya Hino, pp. 121-175
- 28 アフリカの近代国民国家体制と伝統王国 平成11年 『あうろーら』16号夏、159-174頁 21世紀の関西を考える会
- 29 人間生活の観点からみた砂漠化と干ばつの防止 平成11年 『砂漠化防止対策推進支援調査業務報告書』38-45頁 財団法人地球・人間環境フォーラム
- 30 Islamization as a Readjustment of the Urbanizing Process 1994 *Urbanism in Islam*, The Proceeding of the 2nd International Conference on Urbanism in Islam (ICUIT III) Nov. 27-29, pp. 357-360
- 31 西アフリカにおけるイスラーム問題 平成13年 『外交フォーラム』155、6月号、43-49頁 都市出版
- 32 稲作文化の世界観 平成13年 *Science of Humanity Bensei* vol. 35, 75-85頁 勉誠出版
- 33 地球人類のための宗教学序説 平成13年 『宗教研究』75-329、25-50頁 日本宗教学会
- 34 和辻哲郎の風土と沙漠の思想 平成13年 『沙漠研究』11-3、199-210頁 日本砂漠学会
- 35 Djenné et son systeme de commerce de longues distances 1996 *African Urban Studies* 4, ed. by Shunya Hino, pp. 75-110
- 36 文明化としてのアフリカ・イスラーム化 平成16年 『宗教研究』341、375-400頁 日本宗教学会
- 37 乾燥地域における人間生活の基本構造 平成17年 『地球環境』10-1、3-16頁 財団法人地球・人間環境フォーラム
- 38 謎としてのヨーロッパ—ヨーロッパ基層文化発刊にあたって 平成17年 『ヨーロッパ基層文化研究』1、1-3頁 ヨーロッパ基層文化研究会

- 39 知られざる農村民族誌：池本喜三夫著フランス農村物語（東明社1971、初版1934、534頁）平成17年 『ヨーロッパ基層文化研究』1、87-94頁 ヨーロッパ基層文化研究会
- 40 ヨーロッパに共同体は存在したか—地球人類共同体の哲学のために 平成18年 関西哲学会年報『アルケ』2006、16-31頁
- 41 「神の国」から「地の国」へ—ヨーロッパにおける主権国家思想の成立と中世世界 平成18年 『比較法史研究—思想・制度・社会』14、284-314頁 未来社
- 42 森の文化としてのヨーロッパ 平成18年 『ヨーロッパ基層文化研究』2、3-13頁 ヨーロッパ基層文化研究会
- 43 地域システムとしてのアフリカ伝統王国—アフリカの歴史生態構造と伝統国家 平成18年 『アフリカ伝統王国研究』3（アフリカ伝統王国の不平等階層性と多部族的・超部族的地域形成をめぐる理論的研究14-16年度年度科学研究費補助金研究成果報告）17-42頁
- 44 Les royaumes africains comme systèmes régionaux : Zones écologiques et formations étatiques en Afrique 平成18年 『アフリカ伝統王国研究』3（アフリカ伝統王国の不平等階層性と多部族的・超部族的地域形成をめぐる理論的研究14-16年度年度科学研究費補助金研究成果報告）43-57頁
- 45 経済発展の歴史自然環境分析—アフリカと東南アジア比較試論 平成19年 『アフリカ研究』70、77-90頁（モラル・エコノミーの特集論文）日本アフリカ学会
- 46 Jihad peul et autorité islamique traditionnelle. Dynamique d'appro-priation de l'islam dans les villes de l'Afrique de l'Ouest 2012 *Geotema* 18, pp. 32-43, Organo ufficiale dell'Asociazione Geografi Italiani
- 47 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations 2012 『アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究』*Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations* vol. 1、3-8頁
- 48 牧畜文解析によるアフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明とその現代的動態の研究 2012 『アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究』*Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations* vol. 2、3-23頁
- 49 超民族的コスモポリタン原理としてのフランス国民国家（ネイション・ステイト）思想—多民族大陸国家フランスの国家と国民の形成 平成20年 比較法史学会編『歴史のなかの国家と宗教』「Historia Juris」比較法史研究—思想・制度・社会16、148-182頁 未来社
- 50 内モンゴルの「近代的」すぎる牧畜改革—サハラ南縁乾燥地域牧畜社会の観点から 平成20年 『中国における環境政策「生態移民」の実態調査と評価方法の確立』平成17-19年度科学研究費補助金（基盤研究(A)海外調査）（代表：小長谷有紀）研究成果報告、18-27頁 国立民族学博物館
- 51 うたといのり—西アフリカから考える 平成20年 『万葉古代学研究年報』6、253-262頁 ※万葉集を世界から考えるという2年間にわたる共同研究の成果。タミル古代文学の高橋信孝、雲南歌謡との関連で万葉研究をすすめている辰巳正明國學院大學教授らが参加。
- 52 グリオ考—サハラ南縁イスラーム文明世界の音楽師 平成21年 『國學院雑誌』110-11 特集「歌謡の時代」442-454頁 ※日本の歌謡文化をひろく世的視野までとりいれて組まれた特集。
- 53 Toward Integrating Globalization and Humanism 2004 *Echoes of Peace* 66, pp. 4-7

- 54 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の4類型—乾燥地域の人類文明史的考察 平成22年『文化人類学』74-4 特集「人類史の空間論的再構築—移動、出会い、コンフリクト」585-612頁、日本文化人類学会
- 55 サハラ砂漠の政治人類学—マリ北部独立運動をめぐって 平成23年『情況』第4期3・4月合併号、71-86頁 情況出版
- 56 アフリカの文学風土 平成26年『文芸思潮』50号、174-196頁 アジア文化社
- 57 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明からみたモンゴル 平成26年『アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究』*Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations* vol. 4、1-20頁
- 58 マリ国の内戦とイスラーム交易都市ジェンネの崩壊 平成26年『アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究』*Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations* vol. 4、69-88頁

書評

- 1 E. モラン著(古田幸男訳)『失われた範列』(法政大学出版局、1975、280頁) 昭和56年『季刊人類学』7-3、講談社、211-213頁
- 2 日野舜也著『アフリカの小さな町から』(筑摩書房、1984、226頁) 昭和60年 日本アフリカ学会『アフリカ研究』26、105-108頁
- 3 福井勝義・谷泰編著『牧畜文化の原像—生態・社会・歴史』(日本放送出版協会、1987、617頁) 昭和62年 国立民族学博物館『民博通信』38、18-20頁
- 4 今、社会人類学に何が求められているか 須藤健一・山下晋司・吉岡政徳編『歴史のなかの社会—社会人類学の可能性 I』、小川正恭・渡邊欣雄・小松和彦編『象徴と権力—社会人類学の可能性 II』(弘文堂、1988) 昭和63年『週刊読書人』1734
- 5 小川了著『サヘルに暮らす』(日本放送出版協会、1988、222頁) 昭和63年 国立民族学博物館『民博通信』42、42-46頁
- 6 長谷正當著『象徴と想像力』(創文社、1987、275頁) 昭和63年『宗教学研究』62-278、97-100頁
- 7 ピエール・クラストル著(渡辺公三訳)『国家に抗する社会—政治人類学研究』(書肆風の薔薇、1987、328頁) 平成元年『民族学研究』54-2、230-234頁
- 8 大塚和夫著『異文化としてのイスラーム』(同文館、1989、368頁) 平成4年『民族学研究』57-3、365-369頁
- 9 和田正平著『裸体人類学—裸族からみた西欧文化』(中央公論社、1994、196頁) 平成7年 国立民族学博物館『民博通信』69、32-37頁
- 10 福井勝義編著『水の原風景—自然と心をつなぐもの』(TOTO 出版、1996、296頁) 平成9年『宗教研究』70-3、130-136頁
- 11 イブラヒム・アル・クーニー著、奴田原睦明訳『ティブル』(財団法人国際言語文化振興財団、207頁) 平成10年『沙漠研究』8-9、219-220頁 日本沙漠学会
- 12 小川了著『可能性としての国家誌—現代アフリカ国家の人と宗教』(世界思想社、1998、291頁) 平成10年『民族学研究』61-3、118-121頁
- 13 太田好信『民族誌的近代への介入—文化を語る権利は誰にあるのか』(人文書院、2001、338頁) 平成13年『図書新聞』6月9日号

- 14 忘れられたテーマ動物供犠をめぐる思索 中村生雄『祭祀と供犠—日本人の自然観・動物観』(法蔵館、2001、303頁) 平成14年『日本学報』第21号、115-122頁 大阪大学
- 15 坂井信三著『イスラームと商業の歴史人類学—西アフリカの交易と知識のネットワーク』(世界思想社、2003、517頁) 平成16年『民族学研究』68-4、595-599頁
- 16 ロバート・ゲスト著(伊藤真訳)『アフリカー苦悩する大陸』(東洋経済新報社、2008、334頁) 平成16年6月『ポスト』
- 17 吉野正敏著『気候学の歴史—古代から現代まで』(古今書院、2007、437頁) 平成20年『沙漠誌ノート』5、99-101頁

小 論

- 1 酒と歌 昭和59年『不二』静岡大学教職員組合
- 2 フルベ族の知恵 昭和59年『コモンセンス』12月号、34-35頁
- 3 イヌとともにある一家団欒の精神 昭和61年『季刊民族学』35号、54頁
- 4 アフリカの原野にて 平成元年『図書館通信』87 静岡大学図書館
- 5 にわか旦那の美的終末論 平成5年『民族藝術学会会報』33号、4頁
- 6 ヤマトノオロチ伝説と井戸 平成6年『季刊民族学』68号、58-59頁
- 7 西アフリカ民族の中のバサリ族とは 平成7年『GEO』8号、127頁、及び「精霊が導くカメレオン祭り」の監修
- 8 サハラのアムール先生の思い出 平成7年「砂漠と文明—乾燥地の知恵に学ぶ」静岡大学シンポジウム実行委員会 31-34頁
- 9 地球環境のフロンティア「乾燥地帯に生きる」平成7年『静岡新聞』11月6日
- 10 地球環境のフロンティア「[砂漠化前線]の大雨」平成7年『静岡新聞』11月20日
- 11 地球環境のフロンティア「多雨と緑の世界」平成7年『静岡新聞』11月27日
- 12 地球環境のフロンティア「乾燥地河川の治水」平成7年『静岡新聞』12月4日
- 13 地球環境のフロンティア「オアシスを訪ねる」平成7年『静岡新聞』12月18日
- 14 地球環境のフロンティア「オアシスを造る」平成7年『静岡新聞』12月25日
- 15 地球環境のフロンティア「乾燥地の牧畜文化」平成8年『静岡新聞』1月8日
- 16 地球環境のフロンティア「乾燥地帯の交流」平成8年『静岡新聞』1月22日
- 17 いねましものを踊らむとや—フランスの結婚式 平成8年『祝い酒のゆくえ』酒文化研究報告書1 TaKaRa 酒生活文化研究所
- 18 アイサ：アフリカ美人が地球を救う?! 平成9年『静大NOW 静岡大学情報』No. 404
- 19 生物的な限界環境下における人間生活の危機とその克服方法の関する学際的比較研究—砂漠化と都市化が生み出す限界環境を中心に 砂漠化への社会的宗教的対応の研究 平成10年 人間と地球環境平成9年度学内特別研究プロジェクト 静岡大学
- 20 生物的な限界環境下における人間生活の危機とその克服方法の関する学際的比較研究—砂漠化と都市化が生み出す限界環境を中心に 学内特別研究プロジェクト「人間と地球環境」(研究成果報告) 平成11年『静岡大学学内特別研究報告』第1号
- 21 砂漠化への社会的宗教的対応の研究 学内特別研究プロジェクト「人間と地球環境」(研究成果報告) 平成11年『静岡大学学内特別研究報告』第1号

- 22 生物的な限界環境下における人間生活の危機とその克服方法の関する学際的比較研究—砂漠化と都市化が生み出す限界環境を中心に 「乾燥地を生きる知恵としてのイスラーム」 学内特別研究プロジェクト「人間と地球環境 (研究成果報告) 平成12年 『静岡大学学内特別研究報告』 第2号
- 23 巻頭言 ファミ・ジェネの時代 平成12年 『沙漠研究』 10-4 December 2000
- 24 「沙漠化」の本質 平成14年 『民博通信』 98、14-15頁
- 25 貧困とアフリカ—「砂漠と砂漠化に関する国際年」にむけて 平成17年 『聖教新聞』 11月2日
- 26 アフロ・ユーラシア乾燥地総合研究の夢—マックス・プランク研究所 (ドイツ) 訪問記 平成18年 『沙漠誌ノート』 3、1-4頁
- 27 乾燥地文明のシステム・エンジニアリング論 「小さな組織の未来学」 平成26年 3月31日

テレビ番組の監修

- 1 ジェンネ TBS 世界遺産 平成10年
- 2 ドゴン TBS 世界遺産 平成10年
- 3 間寛平のアヘアヘ紀行 カメルーンレイ・プーバ王国 関西・フジ 平成11年
- 4 大アフリカ 王国篇 TBS BS-1 平成12年 (信州大学助教授阿久津昌三と共同監修)
- 5 トンブクトゥ TBS 世界遺産 平成13年

代表として得た科研費および民間財団研究費

- 1 1986「西アフリカ内陸部の牧畜民フルベ族の国家形成の研究」(奨励 100万円)
- 2 1988-1990「イスラームの都市性」の「西アフリカ班」代表(重点領域研究 総額380万円)
- 3 1998-1999「アフリカ伝統王国の社会変化の比較研究—国民社会形成との比較において」(基盤研究(A) 海外学術調査 総額2460万円)
- 4 2002-2004「アフリカ伝統王国の不平等階層性と多部族的・超部族的の地域形成をめぐる人類学的研究」(一般基盤(B) 総額1120万円)
- 5 2006-2008「アフリカ・イスラーム圏における白色系民族と黒色系民族の紛争と共存の宗教人類学研究」(基盤研究(A) 海外学術調査 総額3330万円)
- 6 2006-2007「「フルベ族の聖戦」によるイスラーム国家建設運動(18-19世紀西アフリカ)の総合的研究」(三菱財団 総額200万円)
- 7 2007「伝統知識と技術の再活性化によるアフリカの草の根開発(Grass Root Development)と環境保護」(文科省国際協力イニシアティブ 総額500万円)
- 8 2009-2011「伝統的生活様式の崩壊と再宗教化をめぐる現代アフリカにおける宗教動態」(アジア・アフリカ学術基盤形成事業 総額1100万円)
- 9 2009-2013「牧畜文化解析によるアフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明とその現代的動態の研究」(基盤研究(S) 海外学術 総額2億7万円)
- 10 2014-2016「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の歴史生態人類学的研究」(基盤研究(A) 海外学術 2014年1534万円)